

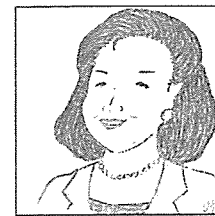


佐川八重子(さがわ・やえこ)

1944年生まれ。千葉県出身。65年登用ゴルフ入社、70年桜ゴルフを設立、代表取締役就任。一般社団法人ニュービジネス協議会初代女性委員会委員長を務める。第10回経済界大賞フラワー賞、米国スターグループ世界優秀女性起業家賞など、受賞歴多数。

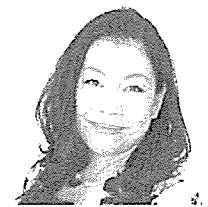
トク 燦々 [sansan] 後編

社員を育てる醍醐味



佐川八重子氏

(桜ゴルフ社長)



佐藤有美(さとう・ゆみ)
経済界代表取締役社長。経済界創業者・故佐藤正忠の長女として事業を継承し、2001年10月、社長に就任。

さまざまな苦勞を経て、今年で創業45周年を迎えた桜ゴルフの佐川八重子社長。次の50周年に向けて、どんなことに取り組んでいくのか。また、若い世代に期待することは何か。お考えを聞かせていただきました。

佐川 バブル崩壊後、リーマンショック、震災を経て桜ゴルフは320億円の売り上げを10分の1にまで落としました。この3年は私も現場に入り、最後の力を振り絞って働きました。小さな仕事でも商談が成立すると涙が出るんですよ。この3年で4割アップをし挽回はしましたが、大変です。そんなわけで、今年中に50周年に向けた3カ年計画を策定する予定です。

佐藤 生涯現役ということですね。会社の将来像はどう描いていますか。

佐川 重要なことは後継者問題ですが、まずは今後の大きな方針としては「女性スタッフの拡充」「主要都市への展開」「デジタルメディアへの対応」など推進していきたいと考えております。3年前より新卒女子を採用し特訓中です。

志を高く持てば
できないことは何もない

佐藤 アベノミクスの恩恵で景気は良くなっていますが、ゴルフ業界の現状はいかがですか。

佐川 安倍政権誕生後の2013年にはアベノミクスの影響もあり、1年で2割近いバブル期を髣髴とさせる動きがみられましたが、この2年は横ばいから弱含みの状態で推移しています。法人がモノを買わなくなったこと、「安い」という風潮が定着し、個人の予算も低くなっていることなど、復調には少し時間がかかるかもしれません。しかし、ゴルフ人口減少と言われながら新しい動きもみられます。70代の男性、20代、10代の女性のゴルフ利用者が増加していることで潜在需要はあるということです。そのような新しい時代に向けた

佐藤 それは楽しみです。新入の方々はいかがですか。

佐川 桜ゴルフの原点を突き詰めてみますと、「女の力」であったと思います。新卒の若い社員たちは真っ白なので教育のし甲斐があります。愛社精神もありますし、それは頼もしい。

佐藤 世代が違うからこそ面白かったり、教えてもらったりすることはありますよね。手塩にかけて社員を育て、後世に伝える



対策が課題です。会員権購入にはタイムラグがありますが。

佐藤 佐川さんは若い世代をかわいがっていらっしゃいますが、起業したい女性にアドバイスをいただけますか。

佐川 本物の仕事師として長く社会にかかわってほしい。そのためには手を差し伸べたい。でもアドバイスをするというよりは、私自身が時代に遅れないようにしたいですね。以前NBC(ニュービジネス協議会)に女性経営者の会をつくり、「道は開かれる」というイベントにマーガ

ることは大切だと思います。

佐川 今は東京だけではなく、女性スタッフをもっと育てて、大阪、名古屋など主要都市に展開したいですね。社員にいかに関業が楽しいかを教えて、育ってくれることは大きな喜びです。きついことを言つと泣き出してしまふような子もいますが、そんな社員でも、成約を得た後は奇麗な顔で出社してきます。仕事は女を奇麗にしますね。

対談を終えて

会社を10年続けるだけでも大変ですが、45年もの間、経営者として第一線で活躍されてきた佐川社長には心から尊敬の念を抱いています。同じ女性経営者として、大きな刺激と勇気をいただいた対談でした。